



浅井圓道先生

略歴

- 昭和二年二月十八日 東京都大田区洗足池畔に父浅井圓照・母千代の長男として誕生。
- 昭和二十四年 三月 東京大学文学部印度哲学梵文学科卒業
- 昭和二十四年 四月 身延山専門学校助教（昭和二十七年三月まで）
- 昭和二十六年 三月 東京大学大学院修士課程修了
- 昭和二十七年十二月 名古屋中部社会事業短期大学助教（昭和二十九年三月まで）
- 昭和二十九年 四月 立正大学仏教学部専任講師
- 昭和三十三年 四月 立正大学仏教学部助教
- 昭和四十一年 四月 立正大学短期大学部教授（昭和四十七年三月まで）
- 昭和四十五年 六月 『上古日本天台本門思想史』により文学博士（立正大学）
- 昭和四十七年 四月 立正大学仏教学部教授、大学院修士課程教授
- 昭和四十八年 十月 『上古日本天台本門思想史』により望月学術賞受賞
- 昭和五十二年 四月 立正大学日蓮教学研究副所長（昭和五十八年三月まで）
- 昭和五十五年 四月 立正大学仏教学部宗宗学科主任（昭和五十八年三月まで）
- 昭和五十八年 四月 立正大学日蓮教学研究副所長（平成九年三月まで）
- 昭和五十八年 四月 日本仏教学会理事（平成九年三月まで）
- 日本印度学仏教学会評議員（平成九年三月まで）

大法輪石原育英会理事（平成九年三月まで）

昭和六十年 四月 立正大学大学院仏教学専攻主任、博士課程教授

平成 元年 四月 日蓮宗勸学院勸学職（現在）

平成 九年 三月 立正大学定年退職

平成 九年 四月 身延山大学長（平成十四年三月まで）

立正大学名誉教授

平成十四年 三月 身延山大学退職

学会及び社会における活動

昭和三十二年 四月 立正大学池上學寮寮監（昭和三十三年三月まで）

昭和四十五年 四月 立正大学学生部長（昭和四十六年三月まで）

昭和五十年 二月 日蓮宗僧階論文審査委員

昭和五十八年 四月 日本仏教学会理事（平成九年三月まで）

日本印度学仏教学会評議員（平成九年三月まで）

大法輪石原育英会理事（平成九年三月まで）

昭和六十年 四月 日蓮宗勸学院講学職（平成元年三月まで）

平成 元年 四月 日蓮宗勸学院勸学職（現在）

平成 九年 四月 身延山学園理事（平成十三年三月まで）

身延山学園評議員（平成十三年三月まで）

日蓮宗普通検定試験委員長（平成十三年三月まで）

立正大学日蓮教学研究所顧問（現在）

立正大学法華經文化研究所顧問（現在）

研究業績

編・著書

- 「伝教大師」(法華新書九) 昭和三十三年七月 平樂寺書店
- 「日蓮集」(共著)(日本の思想四) 昭和四四年十一月 筑摩書房
- 「日蓮宗の教え・四 宗祖」 昭和四五年六月 日蓮宗宗務院
- 「天台本覚論」(共著)(日本思想大系) 昭和四八年一月 岩波書店
- 「上古日本天台本門思想史」 昭和四八年八月 平樂寺書店
- 「日蓮和上を景仰す」 昭和四九年八月 神楽坂法縁
- 「生き死にの道をさぐる 日本仏教の生死観」(共著) 昭和五五年一〇月 有斐閣
- 「観心本尊抄」(仏典講座三八) 昭和五七年一月 大蔵出版
- 「法華品類日蓮遺文抄」(撰) 昭和六三年一〇月 山喜房佛書林
- 「法華経の世界」(共著) 昭和六三年一月 講談社
- 「宗義大綱読本」(共著) 平成元年八月 日蓮宗新聞社
- 「本覚思想の源流と展開」(編著)(法華経研究XI) 平成三年一月 平樂寺書店
- 「日蓮聖人―その生涯と教え―」(共著)(さだるま新書9) 平成三年三月 日蓮宗新聞社
- 「浅井円道選集第一巻 日蓮聖人教学の探求」 平成九年三月 山喜房佛書林
- 「日蓮宗の教え―檀信徒版宗義大綱読本―」(共著) 平成二年二月 日蓮宗新聞社
- 「浅井円道選集第二巻 日蓮聖人と天台宗」 平成二一年七月 山喜房佛書林

- 「日蓮宗読経偈文全書Ⅰ・Ⅱ」(監修)平成二二年四月 四季社
 「日蓮宗日常勤行要典」(監修)平成二二年九月 四季社
 「鈴木修学先生の南無妙法蓮華経」平成一三年六月 山喜房佛書林

學術論文

- 「法華経に於ける苦観に就て」昭和二六年七月「大崎学報」九八号
 「不軽菩薩の破戒とその意義」昭和二七年七月「大崎学報」九九号
 「五綱中「師判」より眺めたる常不軽菩薩と宗祖との関係」昭和二八年一〇月「大崎学報」一〇〇号
 「ケルン氏の法華経観」昭和二九年七月「大崎学報」一〇一号
 「忠尋の止観超克思想」昭和三〇年六月「大崎学報」一〇三号
 「即身成仏門に関する法華思想史」昭和三二年一月「印度学仏教学研究」通巻九号(五巻一号)
 「日蓮聖人の伝教大師観」昭和三三年三月「日本仏教学会年報」二二二号
 「最澄と空海」昭和三三年六月「歴史教育」六巻六号
 「優陀那和尚の宗学する態度」昭和三三年六月「大崎学報」一〇八号
 「法体勝劣論の考察」昭和三五年二月「大崎学報」一一一号
 「法体勝劣論の考察(再)」昭和三七年二月「大崎学報」一一五号
 「宗教と教育」昭和三八年一二月「棲神」三七号

- 「五義判の形成過程の考察―五義の発表まで―」昭和三十九年一〇月「大崎学報」一一八号
- 「日蓮聖人の五義判の成立について―選択集との関連において―」昭和四〇年一月「印度学仏教学研究」通卷二五号
(一三卷一号)
- 「伝教大師と法華思想の連関」昭和四〇年三月「法華経の思想と文化」(坂本幸男編、平楽寺書店)
- 「聖徳太子・天台大師・伝教大師」昭和四一年三月「法華経入門」(久保田正文編、日新出版)
- 「方便品寿量品送状について」昭和四一年七月「大崎学報」一二二号
- 「宗祖と慈覚・智証―要麟先生への疑義―」昭和四二年七月「大崎学報」一二三二号
- 「上古日本天台における本覚法門展開上の限界」昭和四二年一月「印度学仏教学研究」通卷三二号(一六卷一号)
- 「日蓮聖人における人間観―末法思想と一念三千―」昭和四三年三月「日本仏教学会年報」三三三号
- 「創価学会の出現と問題点」昭和四三年三月「近代日本の法華仏教」(望月敏厚編、平楽寺書店)
- 「『無作三身』考」昭和四四年二月「印度学仏教学研究」通卷三五号(一八卷一号)
- 「曼荼羅私見」昭和四五年三月「日蓮宗現代宗教研究所所報」四号
- 「最澄と日蓮との宗教体験の類似点」昭和四五年六月「立正大学短期大学部紀要」一号
- 「宗祖と五大院安然」昭和四六年七月「大崎学報」一二五・六号
- 「日蓮の日本天台史観」昭和四七年三月「印度学仏教学研究」通卷四〇号(二〇卷二号)
- 「智旭の法華経会義等の研究」昭和四七年三月「法華経の中国的展開」(坂本幸男編、平楽寺書店)
- 「他宗との論争」昭和四七年四月「日蓮信仰の歴史」講座日蓮3(平楽寺書店)
- 「日蓮聖人の日本天台史観について」昭和四七年一〇月「日蓮聖人研究」(宮崎英修・茂田井教亨編、平楽寺書店)

- 〔日本における伝承―最澄と法華經〕昭和四七年十一月「日蓮と法華經」講座日蓮1（平樂寺書店）
- 〔最澄の法華經体験〕昭和四八年六月「伝教大師研究」（天台学会編、早稲田大学出版部）
- 〔日蓮の理同事勝批判とその検討〕昭和四八年一月「インド思想と仏教」中村元博士還暦記念論集（春秋社）
- 〔日蓮〕昭和四九年一月「人生觀」講座仏教思想六（理想社）
- 〔本尊論の展開〕昭和四九年二月「中世法華佛教の展開」（影山堯雄編、平樂寺書店）
- 〔宗祖における觀念論打破の思想〕昭和四九年二月「日蓮教學の諸問題」茂田井教亨先生古稀記念（平樂寺書店）
- 〔日蓮の弘法大師觀〕昭和五〇年三月「日本仏教學會年報」四〇号
- 〔日蓮における教法尊重の學風〕昭和五〇年一〇月「仏教における法の研究」平川彰博士還暦記念論集（春秋社）
- 〔御講聞書〕考〕昭和五〇年一〇月「樓神」四八号
- 〔日蓮の依憑天台とその超克〕昭和五〇年一月「大正大學研究紀要」六一号
- 〔宗祖対法然房〕昭和五一年三月「大崎學報」一二八号
- 〔日蓮を中心として見た惡の超克〕昭和五一年一月「惡」仏教思想2（平樂寺書店）
- 〔法然房源空と宗祖日蓮〕昭和五二年三月「法華文化研究」三号
- 〔日本天台における止觀超克思潮の展開〕昭和五二年二月「佛教の實踐原理」（関口真大編、山喜房佛書林）
- 〔舜統院真迢の日蓮義批判の概要〕昭和五三年三月「近代法華佛教の展開」（宮崎英修編、平樂寺書店）
- 〔宗祖における造語の妙とその意味〕昭和五三年三月「日蓮教學研究所紀要」五号
- 〔日蓮の四箇格言とその心〕昭和五四年六月「国訳一切經月報・三藏」一七九・一八〇号（大東出版社）
- 〔日蓮の仏身論の特徴〕昭和五四年二月「印度學仏教學研究」通卷五五号（二八卷一号）

- 「日蓮聖人の教学形成と法然教学との関連」昭和五五年三月「棲神」五二号
- 「即身成仏論の成立と展開」昭和五六年三月「棲神」五三号
- 「金綱集と法華問答正義抄」昭和五七年三月「大崎学報」一三五号
- 「観心本尊抄のあと」昭和五七年三月「日蓮教学研究紀要」九号
- 「法華経」と立正安国」昭和五七年九月「仏教教理の研究」田村芳朗博士還暦記念論集（春秋社）
- 「宗祖における一法門の異表現」昭和五八年三月「大崎学報」一三六号
- 「親鸞私観」昭和五八年六月「日蓮教団の諸問題」宮崎英修先生古稀記念論文集（平楽寺書店）
- 「寿量品肝要名体宗用教南無妙法蓮華経」昭和五九年三月「仏教学論集」一七号（立正大学大学院仏教学研究會編）
- 「四箇格言」昭和五九年一〇月「仏教学」一八号
- 「日蓮の「如来藏・仏性・仏界・仏種」考」昭和六〇年二月「仏教学論集」中村瑞隆博士古稀記念論集（春秋社）
- 「日本天台の仏性論」昭和六〇年九月「法華仏教の仏陀論と衆生論」（渡邊寶陽編、平楽寺書店）
- 「日蓮の鬼子母神信仰」昭和六〇年一〇月「鬼子母神信仰」民衆宗教史叢書九（雄山閣）
- 「大日経疏の中の法華教学」昭和六一年二月「立正大学大学院紀要」二二号
- 「事の法門」昭和六一年二月「日蓮教学研究紀要」一三三号
- 「法華唱題の源流と展開」昭和六一年二月「大崎学報」一四二号
- 「大日経疏の中の法華教学（続）」昭和六二年二月「立正大学大学院紀要」三三三号
- 「法華文句の有する獨創性」昭和六二年四月「仏教史仏教学論集」野村耀昌博士古稀記念論集（春秋社）
- 「現代語訳日蓮聖人遺文 日蓮の手紙」昭和六二年二月「思想読本 日蓮」田村芳朗編、法蔵館

- 「上行菩薩」昭和六三年七月「大乘菩薩の世界」(金岡秀友編、佼成出版社)
 「永観考―源信・法然との対比―」昭和六三年一〇月「大崎学報」一四五号
 「日蓮の智証大師観」平成元年一〇月「智証大師研究」(智証大師研究)編纂委員会編、同朋舎出版)
 「三大秘法の順序について」平成二年三月「日蓮教学研究所紀要」一七号
 「日蓮教学における生死問題」平成二年五月「日本仏教学会年報」五五号
 「日蓮の教学と本覚思想」平成三年一月「本覚思想の源流と展開」(浅井圓道編、平楽寺書店)
 「日蓮の法華信仰」平成四年五月「信」仏教思想二(平楽寺書店)
 「大般涅槃経と日蓮聖人―五義判について―」平成五年三月「知の邂逅―仏教と科学」塚本啓祥教授還暦記念論文集
 (佼成出版社)
 「大般涅槃経における「持戒と護法」」平成五年三月「日蓮教学研究所紀要」二〇号
 「『円教の意味』―円頓章釈―」平成五年三月「棲神」六五号
 「日蓮聖人の立正安国について」平成五年八月「全国日青」二二九号
 「法華経に対する天台釈と日蓮釈の相違」平成五年一〇月「法華経の受容と展開」(田賀龍彦編、平楽寺書店)
 「日蓮聖人の宿業観・滅罪観」平成五年一月「業思想の研究―同和推進研究資料―」(立正佼成会同和推進本部編)
 「日蓮の生涯Ⅰ」平成五年一二月「真理と創造」二三卷一号(中央学術研究所編)
 「法華経の開会思想」平成五年一二月「中央学術研究所紀要」二二二号
 「本覚思想と文学」平成七年一月「仏教思想と日本文学」仏教文学講座二(勉誠社)
 「日蓮聖人における仏勅と誓願」平成七年五月「日本仏教学会年報」六〇号

「守護国家論と推邪輪」 平成八年二月 勝呂信靜博士古稀記念論文集

「種・熟・脱の法門」 平成九年三月 「天台大師研究」

「法華經の行者最澄」平成九年一二月 「叡山学院研究紀要」二〇号

「宗祖の誓願としての立正安国」平成一〇年三月 「現代宗教研究」三三二号

「法華円教と一念三千」平成一一年三月 「日蓮とその教団」(吉川弘文館)

「行学朝師」観心本尊抄見聞「愚考」平成一一年三月 「身延山大学東洋文化研究所所報」三号

「Nichiren Shonin's View of Humanity-The Final

Dharma Age and the Three Thousand Realms in One Thought-moment」平成一一年一〇月

Japanese Journal of Religious Studies (Volume26/ Numbers3-4)

「朝師御誓見聞管見」平成二二年三月 「身延山大学東洋文化研究所所報」四号

「悪の克服」平成二三年三月 「田賀龍彦博士古稀記念 仏教思想仏教史論」(山喜房佛書林)

辞典(項目分担)

「新仏典解題事典」昭和三六年九月 春秋社

「新仏教辞典」昭和三七年六月 誠信書房

「望月仏教大辞典補遺」昭和三八年二月 世界聖典刊行協会

「仏書解説大辞典補遺」昭和五〇年六月 大東出版社

【日蓮辞典】昭和五三年七月 東京堂出版

【日蓮宗事典】昭和五六年一〇月 日蓮宗宗務院

【日蓮聖人遺文辞典 歴史篇】昭和六〇年六月 身延山久遠寺

【BUDDHICA 仏教大事典】昭和六三年七月 小学館

【岩波仏教辞典】平成元年一二月 岩波書店

【一切経解題辞典】(監修)平成一四年三月 大東出版社

※改訂版などの表記は省略した。

その他(随筆・講話・解説・論説・書評など)

【現代の宗門はどうあるべきか(座談会) 第一回】昭和三三年五月【日蓮宗新聞】一七三号

【現代の宗門はどうあるべきか(座談会) 第二回】昭和三三年六月【日蓮宗新聞】一七四号

【科学万能時代と日蓮主義】昭和三三年六月【法華】四四卷六号(通卷四二四号)

【宗教と教育―日蓮宗教学研究発表大会記録より―上】昭和三七年一〇月【日蓮宗新聞】三三一九号

【宗教と教育―日蓮宗教学研究発表大会記録より―下】昭和三七年十一月【日蓮宗新聞】三三三〇号

【日蓮撰述書の解題】昭和三八年七月【大正新脩大藏経会員通信】三二号(大藏出版)

【新刊紹介 佐野前光著「宗教へのいざない」】昭和四二年六月【日蓮宗新聞】四九五号

【茂田井教享集「日蓮宗入門」(書評)】昭和四三年五月【日蓮宗新聞】五二六号

- 「望月先生追憶断想」昭和四三年六月「大崎学報」一二三号
 「ご先祖と親しむ時」昭和四三年七月「日蓮宗新聞」五三二号
 「四誓」昭和四三年一〇月「日蓮宗新聞」五四三号
 「天台宗」昭和四四年四月「日蓮宗新聞」五六一号
 「執行先生の急逝を悼む」昭和四四年六月「大崎学報」一二四号
 「深く強い信仰」昭和四五年七月「法音」三六号
 「布施」昭和四六年二月「日蓮宗新聞」六二七号
 「伝教大師」昭和四六年五月「日蓮宗新聞」六三六号
 「坂本先生と私」昭和四八年一〇月「大崎学報」一二七号
 「科学と宗教」昭和五〇年五月「法華」六一卷五号（通卷六〇二号）
 「法華経修行の歴史（Ⅰ）」昭和五〇年九月「法華」六一卷九号（通卷六〇六号）
 「創価学会・共産党の協定について私はこう考える」昭和五〇年九月「日蓮宗新聞」七九一号
 「法華経修行の歴史（Ⅱ）」昭和五〇年一二月「法華」六一卷一〇・一一号（通卷六〇七、六〇八号）
 「充治園全集」第一編 解説「昭和五〇年一二月 大東出版社
 「ご遺文に聞くうらぼんの教え」昭和五一年七月「日蓮宗新聞」八二〇号
 「日蓮聖人真蹟集成」解説「昭和五二年五月 法蔵館
 「伝教大師とその教え（Ⅰ）」昭和五二年九月「日蓮宗新聞」八六三号
 「伝教大師とその教え（Ⅱ）」昭和五二年九月「日蓮宗新聞」八六四号

- 「日蓮の手紙真蹟・現代語訳」昭和五三年四月「現代に生きる人間日蓮」(主婦の友社)
 「清水龍山著作集」第一巻 解説「昭和五四年三月「清水龍山著作集」一巻(東方出版)
 「ミットモナイなんてこと忘れろ」のお訓し」昭和五四年七月「法音」一一七号
 「宗保上人と酒」昭和五四年一〇月「法音」一二〇号
 「創価学会」昭和五五年八月「日蓮宗新聞」九六七号
 「日蓮聖人の誠め 立正安国」昭和五六年一月「法音」一三五号
 「坂本幸男論文集」の出版」昭和五六年三月「法音」六七卷三号(通卷六七三号)
 「日蓮聖人の女人教化」昭和五六年六月「大法論」四八卷六号
 「食」昭和五六年一〇月「法華」六七卷一〇号(通卷六七九号)
 「日蓮聖人の宗教」昭和五七年二・五・六・八・九・一二月「法音」一四八・一五二・一五二・一五四・一五五・
 一五八号
 「夢想」昭和五七年九月「法華」六八卷九号(通卷六九〇号)
 「秩序」昭和五八年七月「法華」六九卷七・八号(通卷七〇〇・七〇一号)
 「龍口法難の聞の中へ―蒙古来牒と国諫―」昭和五八年七月「正法」二八号
 「自力と他力」昭和五九年四月「法華」七〇卷四号(通卷七〇八号)
 「法華文句記会本」解説「昭和五九年四月 山喜房仏書林
 「明治期日蓮宗中興の祖 新井日薩和上を偲ぶ」昭和五九年一〇月「日蓮宗新聞」一一一八号
 「車内暴力取締り」昭和六〇年三月「法華」七一巻三号(通卷七一九号)

- 「比叡山（一）最澄の天台入信」昭和六〇年六月「日蓮宗新聞」一一四二号
 「比叡山（二）最澄の入唐求法」昭和六〇年七月「日蓮宗新聞」一一四五号
 「比叡山（三）最澄と空海の接近」昭和六〇年八月「日蓮宗新聞」一一四七号
 「比叡山（四）最澄と得一の論争」昭和六〇年八月「日蓮宗新聞」一一四八号
 「比叡山（五）小乗戒捨て梵網戒を」昭和六〇年九月「日蓮宗新聞」一一五〇号
 「比叡山（六）大乘戒への執念」昭和六〇年一〇月「日蓮宗新聞」一一五三号
 「比叡山（七）最澄と聖人の共通点」昭和六〇年十一月「日蓮宗新聞」一一五六号
 「比叡山（八）最澄の法華経的信念」昭和六〇年十一月「日蓮宗新聞」一一五七号
 「比叡山（九）二代座主円澄の空海接近」昭和六〇年十二月「日蓮宗新聞」一一五九号
 「比叡山（十）入唐後の円仁の業績」昭和六〇年一月「日蓮宗新聞」一一六〇号
 「比叡山（十一）中古天台の揺れ動き」昭和六一年一月「日蓮宗新聞」一一六三号
 「比叡山（十二）源信の「往生要集」と念仏」昭和六一年二月「日蓮宗新聞」一一六五号
 「日蓮教学と現実」昭和六一年四月「法華」七二卷四号（通卷七三二二号）
 「魂魄」昭和六二年四月「法華」七三卷四号（通卷七四四号）
 「比叡山と法華信仰」昭和六二年五月〜六三年八月（六三年三月欠）「法音」二二二号〜二二六号（二二二号欠）
 「国訳一切経 法華文句」解題・校正」昭和六二年六月 大東出版社
 「インドで感じたこと」昭和六三年四月「法華」七四卷四号（通卷七五六号）
 「いわゆる「天台づり」随想」昭和六三年七月「日蓮主義研究」一三三号

- 「寺まいり」平成元年四月「法華」七五卷四号（通卷七六六号）
- 「撰時抄（和英対照）」解題」平成元年八月 日蓮宗海外布教後援会
- 「唱題と念仏」平成元年八月「布教院院報」第四二回
- 「五網の意義」平成元年八月「宗義大綱読本」
- 「三秘の意義」平成元年八月「宗義大綱読本」
- 「田村芳朗先生を偲ぶ」平成元年一月「大崎学報」一四六号
- 「スリランカ巡礼」平成二年五月「法華」七六卷四・五号（通卷七八〇・七八一号）
- 「湾岸戦争と宗教」平成三年四月「法華」七七卷四号（通卷七九二号）
- 「観心本尊抄の話」（講話）平成三年八月「布教院院報」四四回
- 「信心」平成四年五月「法華」七八卷五号（通卷八〇五号）
- 「法華経が最も身近か」平成五年六月「法華」七九卷六号（通卷八一八号）
- 「法華経の体質の一つ」平成六年五月「法華」八〇卷五・六号（通卷八二九・八三〇号）
- 「ことわざ」平成七年六月「法華」八一卷六号（通卷八四一号）
- 「宗義大綱 五網の教判」平成一三年三月「日蓮宗勸学院中央教学研究會講義録」第一号